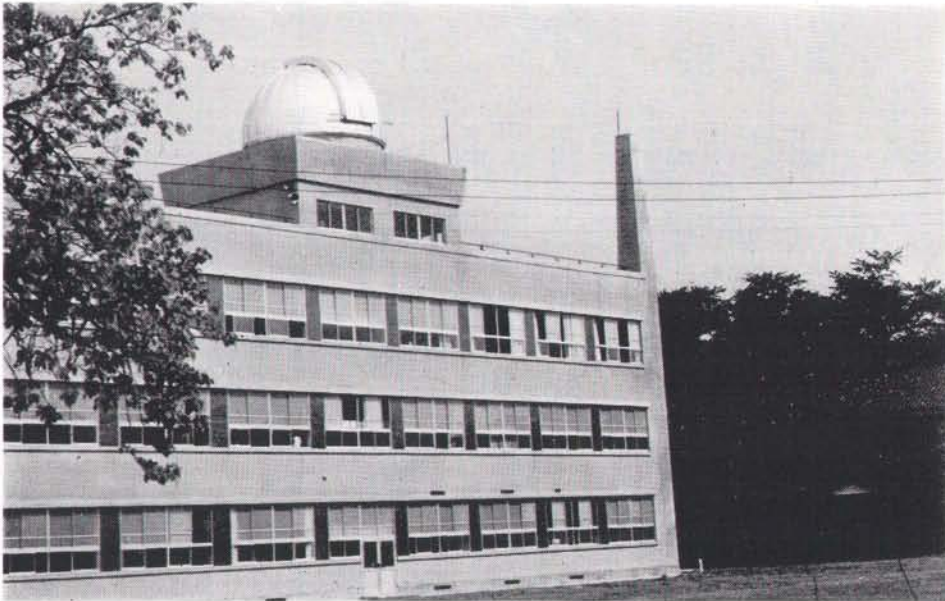
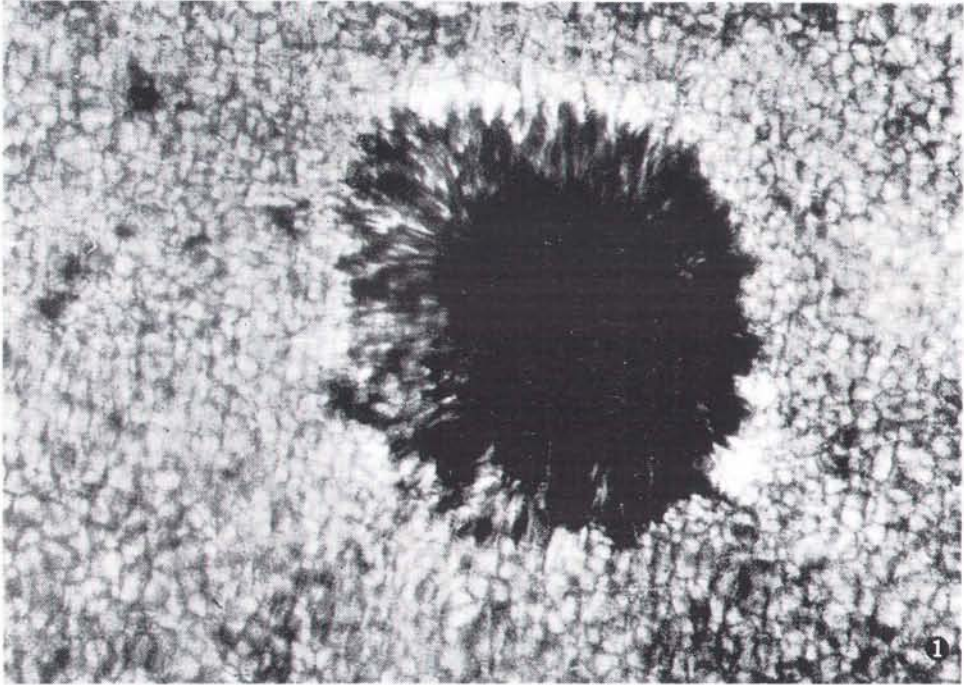


### 高田天文台

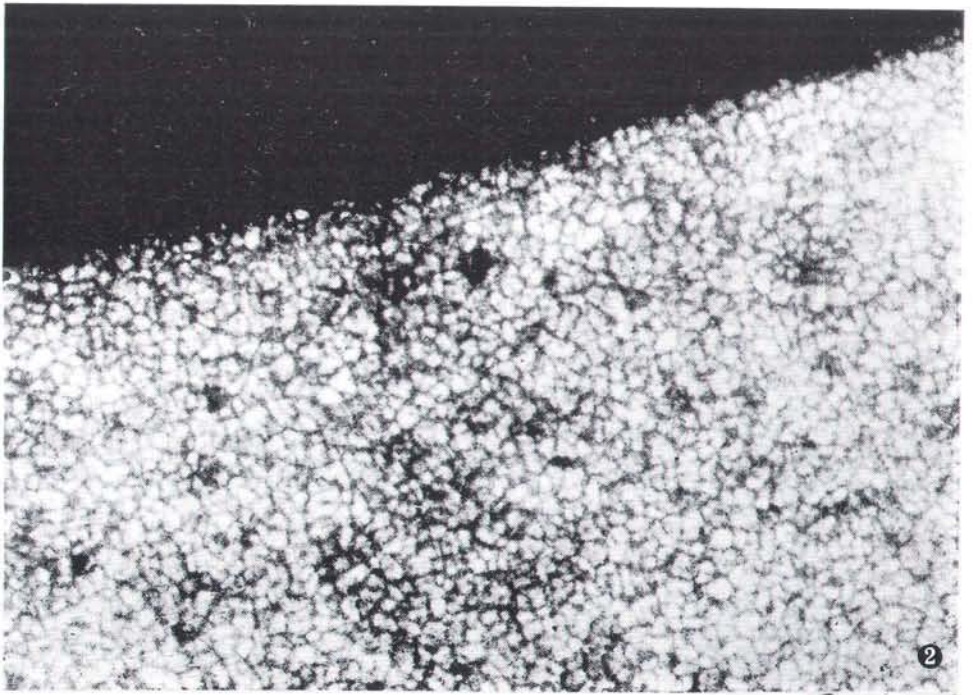
新潟大学教育学部高田分校附属中学校の屋上に設けられたこの天文台は、旧高田師範の同窓会の寄贈になるもので、主な望遠鏡は 40 cm 反射望遠鏡である。ニュートンでの焦点距離は 2.2 m, F 5.5, カセグレンでの焦点距離は 8.0 m, F 20, 外に 15 cm, 10 cm, 7.5 cm の三本の屈折案内望遠鏡と、8 cm の星野カメラ、分光カメラ、光電測光装置などをもつ西村製作所製である。場所は旧高田城の本丸跡にあり、四方をとりまく土塁と深い森とは、街の灯火をさえぎるのによいとのことである。新大教授と中学校長を兼ねる栗原正次氏は古い本会々員で、かつ掩蔽等の熱心な観測者でもあるので、今後の活躍が期待される。



Pic du Midi の 38 cm 屈折鏡による太陽像 (232 頁川口市郎氏の記事参照)



1 黒点のまわりで, granule が小さくなっているのに注意して下さい.



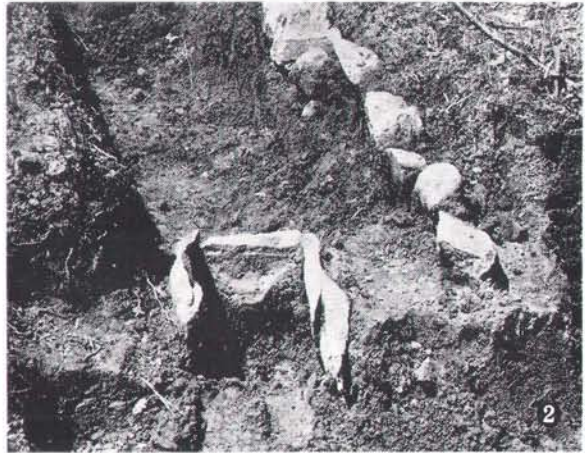
2 今年の 5 月 20 日の日食の際に撮影したもの. 上の黒い部分は月のリムである.

## 岡山天体物理観測所におけるクーデ太陽望遠鏡の起工式



1 岡山天体物理観測所のクーデ型太陽望遠鏡ドーム建築工事の地鎮祭。前列右より、広瀬台長、山崎施設部長、大沢所長。

2 工事現場から出土のた箱棺石棺の一部（弥生式後期のものとの定される）。手前箱型棺 30×40センチ。



### さそり座 X 線源の位置を 測定した X 線望遠鏡

これは前号で紹介したさそり座 X 線源の位置を測定した X 線望遠鏡で、今年の 3 月 8 日、Aerobee ロケットにつけて打上げられた。これを技術的に開発したのは、H. Gursky 氏 (American Science and Engineering, Inc, ↓ ASE) と小田稔氏であり、観測は Giacconi, Gursky, Girenstein, Waters (ASE) 及び Bradt, Garmire, 小田, Sreekantan (MIT) 各氏により行われた。なお、小田氏によれば、exter という名は、このグループでつけた名であるが、公式には O. Manley というこのグループ所属の理論家が、Ap. J. で使ったのが最初であろうとのことである。

